

平成 30 年度 狛江市市民活動支援センター第 3 回運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成 30 年 7 月 27 日 (金) 午後 7 時～午後 8 時 30 分
- 2 場 所 市民活動支援センター フリースペース
- 3 出席者 委 員 青木香奈 伊藤輝芳 伊藤聡子 上田英司 内海貴美 小川三男
大矢美枝子 荻野修 千葉桂樹 佐藤新哉 松村正俊 三島瑞子
事務局 小楠寿和 高橋宗孝 斎藤あや子 白石珠美 高橋善治 中里紀男
日比野浩
- (50 音順 敬称略)
- 4 欠席者 委 員 松村雪子 渡辺敏政
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 1 協議事項
①次期指定管理に伴う 5 か年事業計画 (素案) について (資料 1)
2 報告事項
①指定管理業務の報告について (4 月 1 日～6 月 30 日) (資料 2)
②専門部会からの報告
- 7 配布資料 狛江市市民活動支援センター事業計画 (素案) (2019～2023 年度)
狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書 (4 月 1 日～6 月 30 日)
「こまえがお」第 5 号

8 会議概要

1 開会

委員長からあいさつがされた。

2 議題

(1) 協議事項

次期指定管理に伴う 5 か年事業計画 (素案) について

— 事務局より資料 1 に基づき説明 —

(委員長)

事務局より説明があったが、社会福祉協議会では、次の指定管理の再指定を受ける準備としての素案作りとなる。限られた時間の中で策定するため、社会福祉協議会から 2 名、運営委員から 3 名と事務局で素案作りを行っている。何かご意見があれば伺いたい。

(委 員)

文中に CSW (コミュニティソーシャルワーカー) という言葉があるが、将来的に 3 地域に配置されることになっていると思う。現在はあいとぴあエリアの 1 名だけしかいないので、他のエリアのことも併記した方がいいのではないか。この表記でいいか。

(事務局)

ご指摘のとおり、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）は3地区に1名ずつ配置する予定になっている。現在はあいとびあエリアのみの1名だが、あいとびあエリアだけでなく全域からの相談を受けている。順次CSWを増やしていくので、表記としては問題ないのではないかと考えている。

(委員)

別紙1はどこにあるか。

(事務局)

詳細はまだ出来上がっていないので、本日の資料には入れていない。

(委員)

基本目標1から4までであるが、矢印のない部分についてはどのようにするか。表記上つながっていないように見える部分があるが。

(事務局)

矢印のないところについては、継続するものと考えていただきたい。表記の仕方がうまくできていないところについては、修正をしたい。

他にお気づきのところがあればセンターまでご連絡いただきたい。

(委員長)

いろいろ意見が出されたので、どのように反映していくか改めて計画を検討して作成をしていただきたい。あとで気づいたところがあれば、7月31日までに事務局まで連絡してほしい。

協議事項は以上とする。

(2) 報告事項

①指定管理業務の報告について（4月1日～6月30日）

—資料2に基づき事務局より説明—

(委員長)

何か質問等はあるか。

(委員)

読み聞かせのボランティアの方は市の講座を修了した方とのことだが、どこの課が主催した講座か。

(事務局)

高齢障がい課の主催した講座になる。元々は認知症予防の講座だが、講座の組み立てをする団体が読み聞かせが一番いいということでこのような講座になった。読み聞かせの中で高齢者向け、

子供向けといろいろあるが、高齢者施設との関係も今回持つことができた。高齢者施設も地域とのつながりを持ちたいという思いがあり、活動についてのつながりができた。

(委 員)

利用者数の内訳の登録については、団体と個人とどちらか。

(事務局)

団体の新規登録になる。

(委 員)

行政からの相談のあった保育ボランティアの募集について、有資格者の募集になるか。

(事 務 局)

それぞれ相談に来る課によって、ボランティアに求める条件が違う。

(委 員 長)

現在保育ボランティアはどのくらいいるか。

(事務局)

約 20 名の登録者がいる。

②専門部会からの報告

■広報部会

- ・広報誌「こまえがお」第5号を発行した。9名の市民の方が関わっている。

個人に焦点を当てて、狛江の良さを語っていただいた。また、初めての取り組みとして4コマ漫画を公募した。このようにいろいろな形で市民の方に紙面へ参加していただく機会を作りたい。

(委 員)

4コマ漫画は、どうかたちで募集をしたのか。

(事 務 局)

情報誌「えくぼ」で募集をした。

■ホームページ部会

- ・登録団体は、団体専用のページを持ち、情報発信ができる。わかる方がいる団体は、団体自身で情報の発信ができるが、やり方がよくわからない団体も多くいる。その場合に、市民の方から応募していただいた投稿サポーターが現在4名おり、市民が市民を教えるというかたちをとっている。岩戸地域センター、野川地域センターで少数の団体を対象にしてホームページの説明会を行っていて、野川地域センターでは投稿サポーターの方にも活躍していただいた。
- ・説明会を行うごとに、ホームページについて団体からもいろいろご意見もうかがうことができ、より使いやすいホームページになるように反映をさせていくことにもつながっている。

■体験学習部会

- ・ 6名の市民の方に関わっていただいている。8月12日に「国際交流遊んで学ぼう」という企画をしている。子供をとおして若い世代の方にも興味を持っていただくことを考えている。KGF (Komae Global Friends) という団体に協力をしてもらい実施予定。
- ・ 地域での体験学習についても実施予定
- ・ こまえがお第5号には体験学習についての記事がある。体験学習をとおして市民活動に参加してもらえればと思う。

3 その他

次回臨時運営委員会

9月10日(月) 19時～